

第2回 学校あり方部会 意見リスト

資料3

2024. 7. 23

テーマ	カテゴリ	意見数	内容	基本計画へ反映
①安心安全な校舎	安心・安全 セキュリティ	4	1 小中のエリアを明確に区分する画が必要	I 施設整備の基本計画 1 安全・安心な学校
			1 中学校から河川敷(テニスコート)への動線が混み安全でない	
			1 多様な子供たちの動きに配慮する(安全面)	
			1 敷地が離れていることについて、緊急事態への対応方法を検討するべき	
	周辺の道 通学・移動	5	1 児童生徒の移動への配慮が必要	I 施設整備の基本計画 1 安全・安心な学校
			1 小学校から中学校への道が狭い	
			1 中学校北側道路の整備が必要ではないか	
			1 小学校敷地の市道の付け替えについては地域住民の意見を聞く必要がある	
②教室、オープンエリアのレイアウト	敷地利用 周辺への配慮	4	1 徒歩、自転車通学とサービス動線を検討	IV 施設配置について
			1 地域と緩やかにつながる	
			1 中学校体育館と中学校敷地の使い方が課題	
			1 配置計画の中で、保育所への影響を考慮する	
	小中一貫校 多様性・混ざる	2	1 敷地の使い方は他の部会でも意見をもらう	II 施設整備の考え方 1 校舎等の配置について
			1 学校全体が図書館になり、子供たちが必要に応じて居場所を選べる	
③特別支援学級の在り方について	教室 ワークスペース	2	1 小学校高学年と中学生が混ざる工夫	I 施設整備の基本計画 2 主体性を育む学校
			1 教室の中の収納(タブレット置場など)を考慮する	
			1 教室・ワークスペース・ロッカーの関係をうま	
			1 教室・ワークスペース・ロッカーの関係をうま	
	メディア・ラーニング機能	4	1 メディアラーニングは縦割りの活動に有効	II 施設整備の考え方 2 屋内施設について
			1 メディアラーニングはルール、ローテーションにより、利用率を上げることができる	
その他	多目的スペース	4	1 図書スペースを分散配置し、他の機能とつなぐ	II 施設整備の考え方 2 屋内施設について
			1 タブレットの使用で図書室の使い方に変化が出てきた	
			1 図書室、階段教室、多目的室は有効	
			1 多目的スペースや階段教室について、学年を超えた交流や子供の自主的な使い方ができる。(マルチユース)	
	特別支援 不登校について	4	1 多目的スペースや階段教室について、開放的な設え	II 施設整備の考え方 2 屋内施設について
			1 児童生徒の居場所(ランチルームなど)は校舎規模に影響する	
その他	特別支援 不登校について	4	1 特別支援教室は普通教室並びにエリアとしてゾーニングする	II 施設整備の考え方 2 屋内施設について
			1 インクルーシブしていくことが大事(三次独自の考え方)	
			1 学校に来やすい環境をつくる(外部からの直接アプローチ)	
			1 障害特性によってフレキシブルに使えるとよい	
	体育館・プール	2	1 プールの管理運営は教職への負担が大きい	II 施設整備の考え方 2 屋内施設について 3 屋外施設について
			1 ため、市民プール利用の検討が必要	
その他	事業のプロセス スケジュール	4	1 市民プールの利用ができれば、小学校体育館、グラウンドと合わせてスポーツエリアとなる	V 事業手法案
			1 ハード面とソフト面を一体的に検討するべき	
			1 事業手法について、設計期間が短いためDBはリスクが高い	
			1 事業手法について、子どもたちのための空間をつくりやすい方式がよい	
	その他	3	1 道の付け替えについてスケジュールに反映させる	I 施設整備の基本計画 4 効率的効果的な施設設備の配置と運用
			1 既存の施設の有効利用	
意見総数	38	38	1 防災に関する機能の確保	
			1 郷土資料館は地域にとっても必要である	

意見総数

38